

地域資源を活用する新たなビジネスを全面支援する地域密着金融機関の取り組み

事業者	支援機関
合同会社マツタ食産	秋田県信用組合

企業の概要

秋田県北部に位置する大館市で世界遺産・白神山地の伏流水を使用してドジョウ養殖を営む。「安心・安全」にこだわった質の高いドジョウは首都圏へも販路が広がる。地域活性化の期待を集める事業として、ふ化技術の開発と量産化に取り組む。

支援の概要

◆ 支援の経緯

事業者から創業融資の相談を受けた秋田県信用組合（以下、「県信」）は、人口減少が続く地域における起爆剤として地域資源を活用した新たなビジネス創出を方針に、全面的な支援を推進。事業者と二人三脚で直面する課題をクリアしながら事業展開中。

◆ 経営課題へのアプローチ

① 事業立ち上げの支援

構想段階から相談に対応。事業計画のブラッシュアップ、事業用地の選定など事業立ち上げ時から課題をともに解決。

② 質へのこだわりと生産コストの両立

質にこだわって清潔な地下水と天然飼料の使用、徹底した管理下で養殖技術の確立を支援するとともに、高額となりがちな飼料代に対して複数の飼料会社を紹介し、品質と価格ともに満足する飼料の調達を実現。

③ ゼロからの販路開拓

当初想定の販路が頓挫。ゼロからの販路開拓となったが、「しんくみ食のビジネスマッチング展」への出展、県知事を招いた試食会を開催、ドジョウの質の高さをPR。東京・浅草の老舗ドジョウ料理店を仲介し、取引開始に漕ぎつけるなど販路開拓を全面支援。

◆ 支援成果

① 質の高い養殖技術の確立と飼料代軽減による生産コストの両立。

② 東京浅草の老舗「飯田屋」、地元料理店への販路開拓。

③ 支援をきっかけに「秋田ドジョウ生産者協議会」を設立（事務局：県信）。ドジョウ産地化を加速。

注目ポイント

◆ トップダウンによる迅速な課題対応

初回相談時からトップダウンによる支援を展開。事業者の悩みを受け止め、種々の課題を整理し、迅速に適切な対策を講じる。

◆ 地域資源を活用した新たなビジネスを創出し、持続可能な地方創生を推進。

地域に根差す金融機関として、地域資源を活用した新たなビジネスを創出。行政も巻き込んで地域全体に波及、持続可能な地方創生を推進している。